



元気通信

学校だより

令和元年11月29日号

【今年も感動！ ドナウ祭！！】

校長 四ノ宮 貫

「開校15周年記念ドナウ祭」から3週間が過ぎましたが、今でも子どもたちの躍動する姿がしっかりと思い出されます。今年も素晴らしい内容のパフォーマンスが続きました。

テーマ「15 ^{イコー} 夢をつな^ゴGO！！ ～^{へいせい}平静じゃいられない～」のテーマそのものに、生き生きとした姿が舞台いっぱいにはげられていました。その姿に、何度感動を覚えたことでしょうか。私にとっては3度目のドナウ祭になりました。手前味噌ですが、毎年驚くような高いレベルの発表を観てきました。もちろん、これらの素晴らしい発表は一朝一夕でできるものではありません。放課後の無い日本人学校の日課の中で時間を工夫し、努力を積み重ねてきた成果だと思います。特に感心したことは、練習中の子どもたちの集中力です。今、何をしなくてはならないか、ということをしかりと判断して取り組んでいた証でしょう。

練習や準備に一生懸命取り組んでいたようすを、すべてご紹介するには紙幅が足りません。実行委員会のメンバーの準備段階を見ていただき、子どもたち全員の頑張りを想像していただければと思います。

【PCルームで練習司会班】



【2階ホールでフラッグ班】



【音楽室で作業プログラム班】



最後になりましたが、保護者の皆様には練習の段階からご支援くださり、また、当日もたくさんの温かな拍手を送っていただきました。本当にありがとうございました。

【ドナウ祭を振り返って】

ドナウ祭実行委員長

司会班リーダー 田村 心奏



○司会班は「笑顔で聞き取りやすく」を目標に、練習を重ねてきました。

まず、原稿を完璧に暗記し、はきはきと話せるように何度も練習し、家で

も自主的に練習をしました。また、話すときの目線や振る舞い、イントネーションにも気をつけました。

本番ではとても緊張しましたが、練習の成果を発揮し、会場の皆さんに聞き取りやすい司会ができたので、司会班のみんなも達成感を得ることが出来ました。

今年のドナウ祭実行委員長としてたくさんの経験をしました。慣れないこともあり苦戦することもありましたが、練習から本番を通して、自分自身が大きく成長することが出来たと思います。スローガンの下、みんなが一つになったドナウ祭を私は忘れることはありません。

裏面あります。

フラッグ班リーダー 江西 絢香

○私たちフラッグ班は、この1か月間みんなの心の残るフラッグを作りたいという思いで協力し、毎日集まって頑張りました。スローガンを下に夢をつないでいく思いや、一人一人の夢への思い、平静じゃいられない思いをどのように表現するのかなど、みんなで知恵を出し合い、がんばりました。

当日は作り上げたフラッグが幕に飾ってあるのを見たときに感動し、リーダーとして頑張った良かったと思いました。

プログラム班リーダー 渡邊 煌己

○私たちプログラム班は、「ていねいにわかりやすくみなさんに興味を持ってもらえるように」を目あてに日々頑張ってきました。正確な内容をみなさんに届けたいと、それぞれの担当の先生方へのインタビューをしました。また、全校児童生徒からイラストを募集することで、児童生徒全員の思いが詰まったプログラムになりました。

プログラムの作成を通して、より見やすくそしてわかりやすくする「工夫」、そして期間内に自分の仕事をきちんとこなす「管理」、この二つの力がプログラム班一人一人に身についたと思います。



【PTA外清掃のお礼】

10月31日、11月8日の両日にわたり、お忙しい中、多くの保護者の皆様に学校周辺の落ち葉掃きをしていただきました。皆様のおかげで、校庭はすっきりときれいになりました。心よりお礼申し上げます。ありがとうございます。

また、PTA役員の皆様におかれましては、事前準備から当日の運営に至るまで詳細に計画していただき、本当にお疲れ様でした。あわせてお礼申し上げます。



『学校評価アンケート』のお願い

今年度も学校評価を実施し、本校教育活動および学校運営について評価を行い、次年度への改善を図っていきたく考えております。ご家庭に一枚のアンケート用紙を配付させていただきます。よろしくお願いいたします。

アンケート締め切り日 12/10(火)
担任までご提出ください。

「日本・ハンガリー外交関係樹立 150 周年記念和太鼓コンサート」

11月25日、MÜPA(芸術宮殿バルトークコンサートホール)で開催されました「日本・ハンガリー外交関係樹立 150 周年記念和太鼓コンサート」に本校の小学部太鼓部8名と中学部13名が出演しました。

1,200名を超える観客を前に、太鼓部は日頃練習している2曲を、中学部は先日ドナウ祭で



披露した曲を堂々と披露することができました。

両国の懸け橋となるべく、日本の子ども達の代表として、その役割を立派に果たした彼らの姿は大変たくましく感じられました。

このような機会を与えてくださった在ハンガリー日本国大使館に心より感謝申し上げます。

